



~	和年度	COMPAS			下関駅前 自己評価結果(公表	討議日:令和5年10月13
		一	- <b>D</b> (	116	)自じ評価和未(公衣	公表日:节和6年 2月20
	=	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 国の定めた基準以上の広さを確保し、スペー	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	1	利用定員が指導訓練室等スペ ースの関係で適切である	7		スは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。 感染症拡大を未然に防ぐことができるよう、 机の配置や児童と職員間の適切な距離に配慮	
環境・体制整備業務改善業務改善	2	職員の配置数は適切である	7		しております。 国の定める配置基準を満たしたうえで、基準 以上の人員数を配置しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、障がいの特性に応じ、 事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮	5	2	事業所内はパリアフリーとなっていますが、 玄関には段差があるため状況に応じて職員が 見守り付き添っております。	現在、事業所内での車椅子利用の児童はいませんが、必要に応じて玄関入り口のバリアフリー化を協議・検討してまいります。
	4	が適切になされている  生活空間は、清潔で、心地よく 過ごせる環境になっているか。 また、児童たちの活動に合わ せた空間となっている	7		衛生管理に配慮し、空気清浄機の使用と換気、 机・椅子などは使用後に除菌や清掃をおこな い、気持ちの良い空間を提供できるように努 めております。	
	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り) に、広く職員が参画している	7		毎日の朝礼で業務の連絡、療育内容の確認な ど話し合いの場を設けております。 また月一回リフレクション会議を実施し、支 援の改善点、療育の計画など話し合う中で職 員が情報を共有し、共通理解に努めておりま	
	6	保護者様向け評価表を活用する などによりアンケート調査を実 施して保護者様の意向等を把握 し、業務改善につなげている	7		す。 年に一度のアンケート調査での集計内容を職 員間で共有しながら業務改善に努めておりま す。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者様向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホー	7		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります
	8	ムページ等で公開している 第三者による外部評価を行い、 評価結果を業務改善につなげて いる		7	現時点では第三者評価は実施できておりませ ん。	第三者による外部評価については今後の課是 として検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、 研修の機会を確保している	7		定期的な社内研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
	10	アセスメントを適切に行い、 児童と保護者様のニーズや課 題を客観的に分析した上で、 児童発達支援計画を作成して いる	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童 の現状に合った支援計画を作成し、その都度 見直しをおこなっています。 また、関係機関との連携を図り、児童の現状 と今後の課題に沿った支援計画を作成してお ります。	
適切な	11	児童の適応行動の状況を把握 するために、標準化されたアセ スメントツールを使用している	7		社内共通様式で標準化されたアセスメント シートを使用し、内容を元に支援計画の作成 へと繋げております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		児童・保護者様のご意向や課題を踏まえたうえでガイドラインに沿い、支援に必要な項目を選択して具体的な支援内容の設定に努めております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援 が行われている	6		個別支援会議などで計画内容を把握し、計画 に沿った支援ができるよう職員で話し合い児 童の療育をおこなっております。	
	14	活動プログラムの立案をチーム で行っている	7		児童の特性や課題に応じて、活動プログラムを話し合い、常にチームで立案しております。 習慣化と定着をめざし、繰り返しの療育をおこないますが、日々の記録から進捗を確かめ、 児童の発達や成長に適した個別の課題を考え	
6支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		児童の発達や成長に適した個別の課題を考えております。 職員それぞれの工夫や関わり方に変化をつけ、イベントや季節の製作も取り入れることで、 固定化しないよう努めております。 また、体操だけでなく、理学療法士が指導のもとさまざまな運動療育も取り入れております。	
	16	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7		個別療育を基本としておりますが、保護者様 のご意向の聞き取り調査をもとに集団活動も 取り入れた、児童の特性に応じた支援計画を 作成しております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず 打合せをし、その日行われる 支援の内容や役割分担につい て確認している	7		毎朝、必ず打ち合わせをおこない、その日の 支援の内容や役割分担、環境設定などをおこ なっております。 また、児童の様子を確認し、共通認識を図っ ております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		支援終了後には全職員での打ち合わせが難しい場合もありますが、感想や気づき、問題点など共有しております。 勤務時間の関係で帰宅している職員には翌日の朝礼で必ず報告し、記録も残すように努めております。	
	19	日々の支援に関して記録をと ることを徹底し、支援の検証・ 改善につなげている	7		支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは職員間で共有することで支援の改善 や検証に取り組んでおります。	
	20	定期的にモニタリングを行 い、児童発達支援計画の見直 しの必要性を判断している	7		基本的に半年に一度ですが、その都度必要に 応じてモニタリングをおこない、現状の把握 をして見直しの必要性を判断しております。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の 状況に精通した最もふさわし	7		対象児童について職員間で話し合い、サービ ス担当者会議には児童の状況に精通した児童 発達支援管理責任者が参画しております。	
	22	い者が参画している 母子保健や子ども・子育て支 援等の関係者や関係機関と連	7		関係機関との話し合いにも参加し、行政、医療、 相談支援、保育園などとの情報共有に努めて	
	23	携した支援を行っている (医療的ケアが必要な児童や 重症心身障がいのある児童等 を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、 保育、教育等の関係機関と連 携した支援を行っている		7	おります。   現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制事業所のあり方について模索してまいります
	24	(医療的ケアが必要な児童や 重症心身障がいのある児童等 を支援している場合) 児童の主治医や協力医療機関 等と連絡体制を整えている		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります
関係機関や	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		サービス担当者会議などの話し合いの場を通して、支援内容についての情報共有と相互理解を図っております。	
に保護者様との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		就学前に学校で相談員や各関係機関とともに 会議をおこない、情報共有と相互理解を図っ ております。	
	27	他の児童発達支援センターや 児童発達支援事業所、発達障 害者支援センター等の専門機 関と連携し、助言や研修を受		7	2カ月に1回の子ども部会、月に1回の通所 分科会に参加しております。	子ども部会、通所分科会以外にも今後各研があった際には積極的に参加し、参加した! 員から内容をすべての職員に周知できるよ
	28	けている 保育所や認定こども園、幼稚 園等との交流などの外部の児	7		現時点では事業所主催の交流の機会は企画で	努めてまいります。 保護者様の個々のニーズを伺いご意向を踏っ えたうえで、交流に関して協議・検討をして
	29	童と活動する機会がある (自立支援)協議会子ども部 会や地域の子ども・子育て会	7		きておりません。 月に一回子ども部会・通所分科会が開催され ており、児童発達支援管理責任者が参加して	まいります。
	30	議等へ積極的に参加している 日頃から児童の状況を保護者 様と伝え合い、児童の発達の	7		おります。 連絡帳でのやりとりや送迎時、お迎えの際に 保護者様に様子をお伝えし、共通理解を持っ	
		状況や課題について共通理解を持っている 保護者様の対応力の向上を図 る観点から、保護者様に対し	7		て良い支援へと繋げていけるよう努めております。 保護者様からのご相談は丁寧に聞き取り、助	保護者様の不安や悩みごとがある際には、
	31	て家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)の 支援を行っている 運営規程、利用者負担等につ	7	1	言やご提案をさせていただいております。 契約時に重要事項説明書、契約書に基づき説 明をおこなっております。内容に変更があっ	決への糸口に少しでもなれるよう、事業所; らも積極的な働きかけを心掛けてまいりまっ
	32	いて丁寧な説明を行っている 児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき 支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された			た際には保護者様に丁寧なご説明を心掛けて おります。 ガイドラインに基づいて支援計画を作成して おります。保護者様へは支援計画の内容を示	
		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている 定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に			す中でわかりやすい言葉を使って計画の同意を得ております。  送迎時や電話等で相談を受けた際には、随時	
	35	適切に応じ、必要な助言と支援を行っている 父母の会の活動を支援した り、保護者会等を開催したり	7	-	対応をおこない、日頃から相談しやすい環境作りへの配慮にも心掛けております。 現時点では保護者会の開催はできておりません	保護者様の個々のニーズを伺いご意向を踏まれたうえで、保護者様同士の交流に関して
		するなどにより、保護者様同士の連携を支援している 子どもや保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童		7	ん。  ご相談やお申し入れについては迅速に対応し 全職員で情報を共有していけるよう体制を整	議・検討をしてまいります。
	36	や保護者様に周知し、相談や 申入れがあった場合に迅速か つ適切に対応している 定期的に会報等を発行し、活 動概要や行事予定、連絡体制	7		えております。 また、苦情へのご相談窓口も設けており、契 約時にご説明しております。 季節ごとの COMPASS だよりや、公式 Web サイトのプログ、また毎月、事業所カレンダー を発行しております。 事業所カレンダーでは毎月の活動の概要、前	
	37	等の情報を児童や保護者様に 対して発信している 個人情報の取扱いに十分注意	7		事業所カレンダーでは毎月の活動の概要、削月の写真を掲載することで保護者様に療育や活動の様子をお伝えできるよう努めております。  法人の定める個人情報保護規則に則って、名前の表示・状態などの流布、事業所外での会話等、全職員十分に注意しており、書類破棄の際にはシュレッダーにかけるなど最新の注	
		している 障がいのある児童や保護者様			意を払っております。 また、個人情報ファイルは鍵付き書庫にて保管しております。 児童の特性に適した意思の疎通や情報伝達を	
	39	との意思の疎通や情報伝達の ための配慮をしている 事業所の行事に地域住民を招	7		使い、保護者様へも専門用語を避けたわかり やすい情報伝達を心掛けております。	通所を公にしたくない保護者様もおられるため、 慎重に検討をおったい、 保護者様
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業 運営を図っている 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マ		7	現時点では地域住民をご招待する機会を設ける事業運営はできておりません。 各マニュアルはすぐに確認できるよう室内に	め、慎重に検討をおこない、保護者様のご覧向を踏まえたうえで事業所運営をおこなえるよう努めてまいります。
	41	ニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		掲示しております。 また年間計画を立て、児童とともに避難訓練 を実施しております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている 事前に、服薬や予防接種、てん			児童の命を守ることを第一に考え、避難訓練では児童の特性に応じた避難方法を考慮して実施しております。 標準化されたアセスメントシートを使用して、 対況の抑握に努めております。	
非常時	43	かん発作等の児童の状況を確認している 食物アレルギーのある児童に			状況の把握に努めております。 また、連絡帳などを通して状況の変化も確認 させていただいております。	
17/2	4.4	良物アレルキーのある児里に		1	契約時に保護者様から聞き取りを行い、しっ	I

7

7

7

7

ヒヤリハットがあった際には報告書を作成し、

職員間での認識一致をすることで再発防止と

虐待に関する研修をおこない、虐待防止マニュ

契約時に身体拘束の禁止を記載しており、生

命または身体を保護するために、やむを得ず

必要となる場合については、保護者様の承諾

かりと把握できるように努めております。

職員間で話し合いの場を設けております。

なるよう努めております。

アルに沿って対応しております。

を得るようにしております。

等

の 対 応 44

45

46

47

ついて、医師の指示書に基づ

ヒヤリハット事例集を作成し

て事業所内で共有している

虐待を防止するため、職員の

研修機会を確保する等、適切

どのような場合にやむを得ず 身体拘束を行うかについて、

組織的に決定し、児童や保護

者様に事前に十分に説明し了

解を得た上で、児童発達支援

計画に記載している

な対応をしている

く対応がされている